

6. 事業内容	<p>本事業は地域の大人たちが子どもの健康と安全を自律的に保障する学校地域社会の形成を目指している。子どもの安全を脅かす老朽化した教室を保護者が構造補修する(ア)保護者の学校運営能力向上。地域保健ボランティア(CHW)を育成する(イ)地域保健戦略の強化。行政官が、子どもの健康と安全の課題への理解と効果的な住民への行政指導などを促進する(ウ)行政関係者との協働から構成している。なお、(ア)と(イ)との相乗効果を目指して、CHW を育成する準地区を、教室構造補修など学校運営能力向上を実施する優先準地区とし、2 年次は 4 優先準地区とする。事業内容は、次のとおりである。</p> <p><b>(ア) 保護者の学校運営能力向上</b></p> <p>小学校の保護者が、教室の構造補修等に参加し、技術面・運営面のほか、子どもの健康に関する知識・技能・視点を習得する。保護者が学校運営に主体的に参加することで、学習環境の改善が自律的に展開することを目指す。</p> <p>a. <b>教室構造補修</b>:老朽化した教室がある学校で、保護者への運営能力研修と 2 教室の構造補修を実施する。【2 年次:6 校 12 教室】</p> <p>b. <b>教室建設</b>:倒壊の危険がある教室を自主的に解体する学校を優先して、保護者への運営能力研修と教室建設を実施する。【2 年次:3 校 3 教室】</p> <p>c. <b>リテンド(土留め)壁建設</b>:雨水の流れで土が侵食され、脆弱になった教室基礎の周りにリテンド壁を設置し、建物の安定を確保する。構造補修する教室にこの問題がある場合は、リテンド壁の建設を先に完了する。【2 年次:3 校】</p> <p>d. <b>水タンク設置</b>:マチャコス郡地方政府が、マシंगा準郡の全校へ大型水タンクの供与を開始したため、当初予定した水タンク設置を行なわない。【2 年次:なし】</p> <p>e. <b>保護者の環境活動</b>:環境活動の必要性と実践への関心がある学校で、保護者参加の環境活動を実施する。活動は、学校菜園、少量の水での野菜栽培、樹木苗の育苗、植樹、学校敷地の土壌保全や草地化などを実施する。【2 年次:2 校】</p> <p>f. <b>CDF の教室補修への助言</b>:国会議員選挙区開発基金(CDF)資金で教室補修を実施する小学校の保護者へ、教室の構造強化につながる補修作業についての技術的な助言を行なう。【2 年次:2 校】</p> <p>g. <b>上記 6 つの活動における保健研修</b>:子どもの健康と CHW との連携に関する保護者への研修を実施する。</p> <p><b>(イ) 地域保健戦略の強化</b></p> <p>準郡保健局と協働で、CHW 育成と、CHW をグループ化する地域保健単位(CHU)の形成、保健活動の活性化に取り組む。まず保健活動への意欲が高い住民を CHW 候補として選ぶ。CHW は、研修をとおして子どもの健康かつ安全な成長に関連する知識・技能・視点・態度を習得し、活動の実践を目指す。さらに、CHW が、小学校で学校保健の促進に取り組むための研修を実施し、小学校との連携を促す。</p> <p>a. <b>地域リーダー保健研修</b>:CHW 研修の導入として、村長老や地域リーダーへの保健研修を実施する。【2 年次:2 準地区 80 人】</p> <p>b. <b>CHW を知らせるための村訪問</b>:2 準地区の全村を訪問し、村人会議を開催する。当会が、CHW の意義・役割と無報酬であること、住民が CHW を支援する意味を説明し理解を得る。秘密投票で住民から CHW 候補を選出する。2 準区 30 村を平均 2 回訪問し、平均 20 人の住民が参加。【2 年次:30 村 1200 人】</p> <p>c. <b>CHW 育成研修</b>:4 週間で地域保健戦略とヘルスケアの理論研修、住民の健康情報を収集する実践研修、医療施設での医療実務研修を行なう。1 準地区 45 人</p>
---------	---

	<p>の研修修了を見込み、2CHU を形成する。【2 年次:2 準地区 90 人】</p> <p>d. CHW フォローアップ研修:研修を修了し、日常の保健活動を開始した CHW に追加的な研修を 5 回程度実施する。知識の定着と深化、日常の保健活動、小学校との連携に関する研修を行なう。研修ごとに 30 人の参加を見込む。 【2 年次:10 回 300 人】</p> <p>e. エイズ・リーダー研修:エイズについて、住民へ情報を提供し、地域問題として対処する意識の高い CHW に研修を実施する。1 研修 30 人の修了を見込む。 【2 年次:3 準地区 90 人】</p> <p>f. CHW によるエイズ学習会: エイズ・リーダー研修の修了者が、自らの村で、住民を集めて地域エイズ学習会を開催する。1 学習会 15 人の参加を見込む。 【2 年次:20 村 300 人】</p> <p><b>(ウ) 行政関係者との協働</b> 当会と行政関係者と協働で、地域の問題分析、事業形成、モニタリング、評価を実施し、実施マニュアルを作成する。事業を通して、子どもの健康と安全に関する課題と、課題解決のための住民参加についての理解を深める。他の準郡の行政関係者と実施マニュアルの共有などを通して、経験を共有する。</p> <p>a. 準郡レベルの行政関係者会議:準郡中央行政局・地方行政局・保健局・教育局・CDF 事務局と個別に関係者会議を年 2 回開催する。【2 年次:10 回】</p> <p>b. 地区レベルの行政関係者会議:定期会議は予定しないが、住民参加の側面で深刻な課題が発生した場合、臨時に協議する。【2 年次:なし】</p> <p>c. 準地区レベルのリーダー会議:CHU を形成する 4 準地区において、準地区長主催により、当会と準地区長・村長老・地域リーダーなどと、年 2 回の関係者会議を開催し、地域保健活動の活性化を協議する。【2 年次:4 準地区 8 回】</p>
<p>7. これまでの成果、課題・問題点、対応策など</p>	<p>① これまでの事業における成果</p> <p><b>(ア) 保護者の学校運営能力向上</b> 2 準地区を優先地域とし、事業形成した。さらに、2 年次に追加する優先地域 2 準地区を選定し、予備的な事業形成を始めている。</p> <p>a. <b>教室構造補修</b>:1 年次 3 校 6 教室の教室構造補修を予定。4 候補校を選定。2 校で運営能力向上研修を実施中。2 校でリテンド壁を建設中で、完了後に教室構造補修を予定している。</p> <p>b. <b>教室建設</b>:2 年次より教室建設の予定だが、候補校 1 校との準備を開始した。</p> <p>c. <b>リテンド(土留め)壁建設</b>:1 年次 6 校でリテンド壁建設を予定。6 校で教室基礎の土壌侵食を確認、話し合いを開始し、うち 4 校でリテンド壁建設を開始した。</p> <p>d. <b>水タンク設置</b>:マチャコス郡地方政府が、マシंगा準郡の全公立小学校への水タンクの供与を開始したため、水タンク設置を行なわないこととした。</p> <p>e. <b>保護者の環境活動</b>:1 年次 2 校で環境活動を予定。8 校で環境活動の必要性を確認し、活動実践への関心が高い 2 校を選定し、保護者総会を準備している。</p> <p>f. <b>CDF の教室補修への助言</b>:1 年次 2 校で CDF による教室補修に対して構造強化につながる助言を予定。調査をへて 2 校での助言を開始した。</p> <p>g. <b>上記 6 つの活動における保健研修</b>:子どもの健康と CHW との連携に関する研修内容を検討している。</p> <p><b>(イ) 地域保健戦略の強化</b> 優先地域の 2 準地区にて CHW 育成を開始した。なお、うち 1 準地区では準地区長の提示する推計人口が CHU 規定規模の 2 倍あり、将来の保健活動の効果的な実施</p>

	<p>のため、一部地域で CHU を形成することとなった。</p> <p>a. <b>地域リーダー保健研修</b>:2 準地区で 3 回実施し、計 131 人が参加した。準地区長、村長老、地域リーダーを対象にヘルスケア概論、CHW の意義・役割、無報酬である点などを説明。住民が CHW を支援する必要性も、参加者と検討した。</p> <p>b. <b>CHW を知らせる村訪問</b>:1 準地区で 22 村へ計 46 回の村訪問を実施し、住民のべ 1,032 人が参加し、秘密投票で計 54 人の CHW 候補者を選出して完了した。1 準地区では、現在、村訪問を実施中である。</p> <p>c. <b>CHW 育成研修</b>:54 人の CHW 候補を選出した 1 準地区で、1 人の非識字者候補を支援する追加 CHW を含む 55 人の CHW 候補への研修を実施している。</p> <p>d. <b>CHW フォローアップ研修</b>:1 年次 5 回 150 人を対象に実施予定であるが、現在、CHW 育成研修が完了していないため未実施である。</p> <p><b>(ウ) 行政関係者との協働</b></p> <p>a. <b>準郡レベルの行政関係者会議</b>:準郡保健局とは CHU 形成 2 準地区の選定、CHW 育成の研修内容を協議。教育局とは CHU 形成 2 準地区を優先地区として、教室構造補修、リテンド壁建設の事業形成と候補校選定を実施。保健局学校保健担当も検討に参加し、CHU 形成と学校運営能力向上を実施することで、住民が子どもの健康と安全を保障する相乗効果を目指すことで合意した。CDF 事務局とは CDF が資金供与する準郡内の小学校教室補修での当会の助言活動を合意し、随時協議している。</p> <p>b. <b>地区レベルの行政関係者会議</b>:エカラカラ、キリヨコの 2 地区で、地区長・準地区長への事業説明と住民参加の側面での協働について協議した。</p> <p>c. <b>準地区レベルのリーダー会議</b>:CHU 形成に関連して、1 準地区で村長老会議に 2 回参加し、保健局と協働で育成する CHW の役割・意義を説明した。また、2 準地区で村訪問を複数回実施しても住民の参加に課題が残る村を特定して、村長老・リーダーとの会議を 3 回実施し、のべ 86 人が改善策を検討し、参加を高めることができた。</p> <p>② これまでの事業を通じた課題・問題点 特になし。</p> <p>③ 上記②に対する今後の対応策 特になし。</p>
<p>8. 期待される成果と成果を測る指標</p>	<p>活動ごとの成果と成果を測る指標</p> <p><b>(ア) 保護者の学校運営能力向上</b></p> <p><b>【期待される成果】</b> 保護者が、子どもの健康と安全の保障に関する知識・技能・視点を習得し、学校運営へ主体的に参加することで、安全な学習環境の形成を自律的に展開する。</p> <p><b>【成果を測る指標】</b></p> <p>a. 教室の構造補修、建設により良好な学習環境が形成される。 子どもたちが安全に授業を受けることができる教室数: <b>【開始時】</b>378 教室(総教室数 63 校 504 教室のうち 75%(当会推定)) <b>【1 年次】</b>390 教室(12 教室増:うち本事業 6 教室、住民活動 6 教室) <b>【2 年次】</b>420 教室(30 教室増:うち本事業 15 教室、住民活動 15 教室) :→学校からの報告、写真、当会スタッフ報告、教育局の記録、年次事業監査</p> <p>b. 安全な教室で授業を受けることができる生徒数が増加する。 安全な教室で授業を受けることができる生徒数:</p>

【開始時】13,230 人(当会推定)

【1 年次】13,650 人(420 人増 12 教室改善)

【2 年次】14,700 人(1,050 人増 30 教室改善)

:→1 教室の生徒数 35 人から計算(生徒数:生徒総数 17,413 人÷504 教室)

#### (イ) 地域保健戦略の強化

【期待される成果】CHW が無償の保健活動を地域で実践し、子どもの健康と安全を守る行動が発現する。

#### 【成果を測る指標】

- a. 対象準郡において「本事業の CHU 形成」と「当会助言による準郡保健局の自律的な CHU 形成」により、無償保健活動の基盤となる CHU 形成率が増加する。

CHU 形成率:

【開始時】35.7%(28 準地区中 10 準地区)

【1 年次】50.0%(28 準地区中 14 準地区)

(本事業での形成 2CHU)(準郡保健局の自律的な形成 2CHU)

【2 年次】64.3%(28 準地区中 18 準地区)

(本事業での形成 2CHU)(準郡保健局の自律的な形成 2CHU)

:→準郡保健局の記録、年次事業監査

#### (ウ) 行政関係者との協働

【期待される成果】行政関係者が、子どもの健康と安全を保障するための課題への理解を深め、行政施策や公式発言に反映される。

#### 【成果を測る指標】

行政関係者から保護者・教員・CHW・村長老など住民への子どもの健康と安全の保障につながる当会の事業経験を踏まえた助言事例が発現する。

助言事例:【開始時】0 件;【1 年次】5 件;【2 年次】10 件

:→行政関係者の会合での発言、住民集会での発言、当会スタッフ報告、年次事業監査